

農業会議だより

第46号(令和5年11月)発行：一般社団法人佐賀県農業会議

1. 農業会議臨時理事会を開催
2. 農地利用の最適化の取り組みを強化するための意見書を県に提出
3. 農業委員・農地利用最適化推進委員研修会を開催
4. 市町農業委員会会長会議を開催
5. 職員協議会地区別研修会を開催します
6. 農業者年金加入推進特別研修会を開催
7. 農業委員会女性協議会総会・研修会を開催
8. 農地権利取得者の国籍確認について
9. 白石町農業委員会の取り組みについて
10. 農業者年金の加入推進について
11. 全国農業新聞普及推進・全国農業図書紹介
12. 常設審議委員会の結果(9・10月)
13. 行事予定

1. 農業会議臨時理事会を開催 ～農業会議副会長が決定～

農業会議(会長・大園敏明)は、9月15日に臨時理事会を開催し、下記のとおり副会長及び代表理事が選定されました。

今後とも県の農業振興にむけて全力投球で取り組みますのでご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

役職	氏名	所属・役職名	備考
会長 (代表理事)	大園 敏明	佐賀市農業委員会・会長	
副会長 (代表理事)	山崎 正廣	唐津市農業委員会・会長	新任
副会長	大島 信之	佐賀県農業協同組合中央会・代表理事会長	新任

2. 農地利用の最適化の取り組みを強化するための意見書を県に提出 ～農業者の意見・要望を県に伝える～

農業会議の大園会長（佐賀市農業委員会会長）、山崎副会長（唐津市農業委員会会長）は、10月16日に「農地利用の最適化の取り組みを強化するための意見書」を竹下農林水産部副部長に提出しました。

意見書は、県下の各農業委員会で実施された農業者との意見交換会の実施結果や農業委員・推進委員が日頃の活動に取り組む中で農業者等の意見、要望をとりまとめたものです。

農業会議において、農業委員会会長会議や常設審議委員会の意見等も踏まえ、農業委員会法第53条に基づき実施しました。

意見書を提出した後、竹下副部長と本年7月に発生した大雨災害に伴う復旧支援や担い手の確保・育成対策、中山間地域の鳥獣被害など農業者が現場で直面している課題等について意見交換を行いました。



【意見書の項目】

1. 大雨災害に伴う復旧支援について
2. 燃油・肥料等の生産資材の価格高騰対策について
3. 担い手の確保・育成対策について
4. 農地の基盤整備について
5. 水田活用直接支払交付金の交付対象水田の見直しについて
6. 地域計画の策定に係る支援について
7. 農作物の鳥獣被害対策について
8. 太陽光発電施設の設置と適正な農地利用の確保について
9. 農業委員会の体制整備と交付金等予算の確保について
10. 農業会議の運営予算等の安定確保について

3. 令和5年度農業委員・農地利用最適化推進委員研修会を開催 ～阿賀野市農業委員会の最適化活動に学ぶ～

農業会議は、農地利用の最適化及び地域計画の策定に向けて、農業委員会活動のより一層の強化を図るため、8月28日・29日に鳥栖市及び武雄市で「令和5年度農業委員・農地利用最適化推進委員研修会」を開催し、約500人が参加しました。

研修では、新潟県阿賀野市農業委員会会長職務代理者の笠原尚美氏より、「農地利用の最適化と地域計画の策定に向けた取組み」について講演いただきました。

笠原氏は阿賀野市で米と切り花、露地野菜を栽培する傍ら、平成12年から現在まで23年間農業委員を務められており、精力的に農業委員会活動に取り組まれています。阿賀野市ではリーダー役である4人（会長、会長職務代理者、農地部会長、農政部会長）の地域総括のもと、各地区の農業委員・推進委員がペアで業務を行う体制を取られています。農地を維持していくための取組みとして、毎年全農家を対象に経営状況調査を行うとともに、あっせんの手順や優先順位、気をつけること等を記載したマニュアルを作成し、全委員が情報を自分の中で活用できる力を付け、同じ基準で活動できるように工夫されています。また、目標地図の作成においても「委員ころえ」を作成し、委員が共通認識を持って地域に入っていけるようにし、勉強会を数回重ねた上で話し合いに参画されています。

目標地図の作成においては農地を動かせる人材が必要であり、あっせん等の経験や日々の活動の中で蓄積した情報を活かし、先を見据えて、作れる人に丁寧に農地を集めていく事が農業委員・農地利用最適化推進委員の仕事だと力強く話されました。

参加した委員からは、「素晴らしい取組みがされており、これを参考に地域を繋ぐ仕事に取り組みたい」「地域農業を維持するためにみんなで考えていく必要がある」等の感想が見られました。



笠原尚美氏

4. 市町農業委員会会長会議を開催 ～7月の農業委員改選で9名の会長が交代～

農業会議は9月15日に会長及び関係機関30名出席のもと、市町農業委員会会長会議を開催しました。7月の農業委員改選で会長20名中9名が交代されました。

【20市町農業委員会会長】

市町名	氏名	備考	市町名	氏名	備考
佐賀市	大園 敏明		吉野ヶ里町	中村 榮憲	
唐津市	山崎 正廣		基山町	平野 守	新任
鳥栖市	篠原 浩二	新任	上峰町	高島 正典	
多久市	永渕 晴彦	新任	みやき町	寺田 一義	新任
伊万里市	西山 哲	新任	玄海町	越路 磯樹	新任
武雄市	佐佐木幸夫		有田町	藤 俊信	
鹿島市	織田 博吉		大町町	永尾 敏行	新任
小城市	江里口泰信		江北町	古賀 健則	新任
嬉野市	石橋 勇市		白石町	片渕 久司	
神埼市	西村 睦雄		太良町	榊原 照博	新任

会議では、まず農業会議から農業委員会を取り巻く情勢について説明しました。その中で特に、食料・農業・農村基本法の見直しや地方公共団体による農用地区域の変更に係る国の関与の強化、農地の権利取得時の耕作者の属性確認、営農型太陽光発電事業に係る不適切事案への厳格な対応などについて理解を深めました。

次に、地域計画策定に向けた取組状況について情報共有し、意見交換を行いました。また、農地利用の最適化の取り組みを強化するための意見書について協議し、参加した会長より基盤整備の予算拡充や太陽光発電施設への農地転用に係る課題についての事項を盛り込むよう意見がありました。

5. 地域計画についての取組を推進するため職員地区別研修会を開催します。

農業会議と農業委員会職員協議会の共催で農業委員会の最適化活動の推進及び地域計画についての取組を推進するため下記により職員地区別研修会を開催します。

【期日・場所】

佐城地区（佐賀市、多久市、小城市） ○10月19日（木）13：30～16：00 ○三日月保健福祉センター
三神地区（鳥栖市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町） ○11月8日（水）13：30～16：00 ○吉野ヶ里町役場東脊振庁舎2階大会議室
東西松浦地区（唐津市、伊万里市、玄海町、有田町） ○11月9日（木）13：30～16：00 ○唐津市役所大手口別館6階会議室
杵藤地区（武雄市、鹿島市、嬉野市、大町町、江北町、白石町、太良町） ○11月17日（金）13：30～16：00 ○武雄市文化会館中集会室B

【主な協議内容】

1. 地域計画の策定に係る事項
 - (1) 農政部局との協議について
 - (2) 農家への意向調査について
 - (3) 地域での協議の場の開催について
 - (4) 目標地図の素案作成について
2. 農業委員会サポートシステムの活用について
3. タブレットの活用について
4. 下限面積の廃止について
5. 農業委員等の活動記録について

6. 農業者年金加入推進特別研修会を開催 ～加入推進に向け機運を高める～

農業者年金基金・JA佐賀中央会・農業会議は、農業者年金制度について理解を深め、より一層の加入推進を図るため、9月12日、研修会を開催し、加入推進部長や女性委員、関係機関職員等118名が参加しました。

冒頭に、昨年度の加入推進に大きな功績があった白石町農業委員会、江北町農業委員会及びJAさがに対し農業者年金事業表彰を行いました。（内容は次頁の表のとおり）



研修では農業者年金の制度概要や加入推進の取り組み方を実践した DVD を上映した後、株式会社ユー・ジュエルの根岸由紀江氏より「農業者年金の効果的な勧め方」と題して農業者年金の戸別訪問に役立つ講演をいただきました。その後、農業者年金の資金運用について農業者年金基金の石垣理事より説明がありました。

参加者からは、「農業者に必要な制度だということがわかった」、「身近な人から加入推進をしていきたい」などの声が聞かれました。

【令和4年度の農業者年金事業表彰】

表彰対象	受賞した理事長賞	
白石町農業委員会	新規加入者数部門	第1位
	新規加入者数（20歳から39歳）部門	第4位
	新規加入者数（女性）部門	第2位
	目標達成度合い（新規加入目標5人から9人）部門	第1位
	目標達成度合い（20歳から39歳の新規加入目標5人から9人）部門	第1位
	目標達成度合い（女性の新規加入目標5人から9人）部門	第1位
江北町農業委員会	目標達成度合い（新規加入目標1人から4人）部門	第2位
JAさが	新規加入者数部門	第1位
	新規加入者数（20歳から39歳）部門	第1位
	新規加入者数（女性）部門	第3位
	目標達成度合い（新規加入目標10人以上）部門	第3位
	目標達成度合い（20歳以上39歳の新規加入目標10人以上）部門	第1位
	目標達成度合い（女性の新規加入目標5人から9人）部門	第1位

7. 佐賀県農業委員会女性協議会総会を開催～新役員が選出～

8月24日、佐賀市において佐賀県農業委員会女性協議会の第15回総会を開催し、すべての議案について承認されました。

【議案】

第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算の承認について

第2号議案 役員を選任について

第3号議案 令和5年度事業計画及び収支予算について

第4号議案 令和5年度会費の額及び納入時期について

【新役員体制】

役職	氏名	所属	備考
会長	岩橋 久美	武雄市農業委員会	
副会長	山口 智佐代	嬉野市農業委員会	
副会長	原 久美子	多久市農業委員会	新任
監事	宮原 一美	鳥栖市農業委員会	新任
監事	岸川 満子	江北町農業委員会	

引き続き、研修会を開催し、農業委員会女性協議会の活動の目的やこれまでの経過について農業会議職員が説明した後、自己紹介を行い、出席した委員について理解を深めました。さらに白石町農業委員会の一ノ瀬委員と武雄市農業委員会の岩橋会長より、農業委員になって苦労したことや女性ならではの視点で農家からの相談に対応した経験などについて事例報告がありました。

8. 農地取得に係る国籍把握について

外国人等による農地取得の実態を把握するため、令和5年9月1日付で改正農地法施行規則が施行され、新たに農地の所有権を取得する個人や法人に対して、国籍の報告を求めることとされました。

農地の所有権を取得する際（農地法第3条申請）の許可申請書の記載事項に、個人は国籍と在留資格（以下「国籍等」）、法人は役員や主要株主等の国籍等と法人の設立準拠国が追加されました。

農業委員会においては、権利取得希望者に対し、住民票の写し、在留カード、在留資格証明書等の提示や、国籍等が記載された書面の写し等の添付等により国籍を確認することとなります（農業委員会で申請者の国籍を把握している場合を除く）。

なお、農地所有適格法人報告書（農地法第6条第1項）についても同様です。

また、農地の所有者の国籍等については農地台帳の記録事項にも追加されました。

9. 白石町農業委員会の取り組みについて

① 農業委員会の体制

農業委員 37名、(任期令和5年7月20日から令和8年7月19日)
事務局 8名(うち1名会計年度任用職員)

② 白石町の農業の特徴

白石町は県南西部に位置し、北は六角川、南は塩田川、東南部は有明海に面しています。西方の杵島山系から東方へ広がる広大な白石平野は中世より現代まで幾多の干拓事業で造成された土地です。

米・麦、大豆、たまねぎ、れんこんや、いちごなどの施設園芸等の農業好適地帯となっています。



③ 白石町農業委員会の取り組み

農地移動適正化あっせん事業実施要領及び農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想に基づき、効率的かつ安定的な農業経営を育成するため、農用地の利用集積を促進し生産性の高い農業の確立と農村地域の活性化を実現することを目指します。

また、農業者年金の加入推進活動にも力を入れています。仕事に誇りを持ち、農業を続ける担い手の、将来にわたる生活の安定のため、農業委員、各機関が協力し加入推進に努めています。令和4年度は、日頃の活動が実を結び、新規加入者数全国1位となりました。

白石町の恵まれた農地の有効活用と、農家の農業経営と安定した将来のため活動しています。



R4 加入推進表彰展示 (役場 1階)





わたしたちと一緒に、
いちご、つくりませんか。

佐賀県
三神いちごトレーニングファーム
研修生募集

佐賀県三神地区



研修期間

令和6年4月1日～最長2年間



募集人員

4名以内 ※夫婦の場合は2組まで

原則として就農予定時に49歳以下。
50歳以上は相談となります

募集期間

令和5年

11/1



1/31

※三神地区は鳥栖市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町で構成され、佐賀県の東部に位置するエリアです。

※募集の条件等は、募集開始時（11月1日～）までに
変更になる可能性があります。

主催

三神エリア施設園芸スタートアップ協議会

(鳥栖市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町、
JAさが佐賀三神いちご部会(神埼支部・東部支部)、佐賀県、JAさが三神エリア)

問い合わせ先

事務局 JAさが 三神園芸センター園芸指導課
住所 佐賀県三養基郡みやき町大字西島 1146-1
TEL 0942-96-4844 FAX 0942-96-2114
MAIL toubunourin@pref.saga.lg.jp



さが園芸888運動
SAGA HORTICULTURE MOVEMENT

HPは
こちら！



詳しくは裏面をご覧ください

10. 農業者年金の加入推進について

○令和5年度農業者年金 加入実績

市町名	目標	加入状況	達成率
佐賀市	8	5	63%
唐津市	12	3	25%
鳥栖市	1	1	100%
多久市	1	1	100%
伊万里市	4	4	100%
武雄市	2	1	50%
鹿島市	3	2	67%
小城市	3	1	33%
嬉野市	2	0	0%
神埼市	2	1	50%

市町名	目標	加入状況	達成率
吉野ヶ里町	1	0	0%
基山町	1	0	0%
上峰町	1	0	0%
みやき町	1	2	200%
玄海町	2	1	50%
有田町	1	0	0%
大町町	1	0	0%
江北町	1	1	100%
白石町	7	6	86%
太良町	3	0	0%
計	57	29	51%

	目標	加入状況	達成率
20歳から39歳の新規加入者	36	17	47.2%
女性の新規加入者	28	14	50.0%

9月時点での新規加入者状況は上表の通りです。

8月には多久市で、9月には白石町で、「保険料の納期下限額の引き下げ」※を利用した新規加入がありました。

加入対象者にあわせた推進活動が新規加入者の獲得に繋がっていると思われます。

※保険料の納付下限の引き下げ（令和4年1月1日に制度改正）

35歳未満で政策支援加入の要件に該当しない方は、1万円から通常加入できます。（保険料の納付下限額が2万円から1万円に引き下げられます。）

○保険料引き下げの対象者

次の①～⑤にいずれにも該当しない35歳未満の方

- ① 認定農業者かつ青色申告者
- ② 認定就農者かつ青色申告者
- ③ ①又は②の者と家族経営協定を締結し経営に参画している配偶者又は直系卑属
- ④ 認定農業者又は青色申告者
- ⑤ ①又は②以外の農業を営む者の直系卑属で、その農業に常時従事する後継者

11. 全国農業新聞・全国農業図書を紹介

○全国農業新聞

市町	目標	部数	目標達成 まで	委員 未購読数
佐賀市	213	168	45	1
唐津市	143	98	45	27
鳥栖市	54	43	11	0
多久市	58	50	8	0
伊万里市	89	70	19	4
武雄市	93	65	28	0
鹿島市	93	69	24	0
小城市	73	48	25	31
嬉野市	75	50	25	4
神埼市	98	71	27	1

市町	目標	部数	目標達成 まで	委員 未購読数
吉野ヶ里町	44	32	12	8
基山町	28	18	10	1
上峰町	23	17	6	2
みやき町	44	45	達成	0
玄海町	36	26	10	0
有田町	43	33	10	3
大町町	22	15	7	0
江北町	46	41	5	1
白石町	76	54	22	11
太良町	53	41	12	0
農業会議	96	86	10	
	1,500	1140	360	94

11月時点での購読状況は上記のとおりです。

玄海町が委員の皆購読を達成。

・地域計画や目標地図の素案作成に関する記事続々と

全国農業新聞は農業委員会系統組織が発行する農業新聞。

農業委員会活動に役に立つ記事や地域計画・目標地図の素案作成に関する先進事例が多く掲載されます。

最近の地域計画・目標地図に関する記事

- 9月1日号 岩手県滝沢市 「滝沢スタイルで地域計画を先取り」
- 9月1日号から 地方考夢員研究所こうむいん 研究所長 澤畑佳夫氏 地域計画に関する連載
- 9月8日号 埼玉県杉戸市 「全農地の所有者と耕作者の地図作成」
- 9月22日号 大阪府太子町・交野市 「地域計画の素案作りを着々推進」
- 10月6日号 和歌山県日高川町 「地域計画策定へ本格始動」
(関西版)
- 10月13日号 熊本県菊陽町 「工業化進む中で目標地図の素案作成」

※他地域版の全国農業新聞は電子版で見ることができます。

電子版はこちら⇒ <https://agrionline.jp>

上記の通りほぼ毎週号に地域計画・目標地図の素案作成に関する記事が掲載されており、地域計画をどのように進めていくかの参考になります。

地域の農業者や地域計画に関わる各機関の方も是非ご購読を！

○全国農業図書

刊行一覧はこちら⇒ <https://www.nca.or.jp/tosho/>

農業委員・推進委員の皆さんへ

地域計画 話し合いの手引き

農業委員・推進委員向けに、地域計画の話し合いのコツを持ち運びしやすいA5判のパンフレットにまとめました。プレゼンテーション方式・ワークショップ方式の2つの手法を事例を交えて紹介。

巻末には「『地域計画』策定に当たっての留意点」などの参考情報につながる二次元コードを掲載。

【税込 220 円】

農家のみなさんへ

ご存じですか？「地域計画」

簡潔に「地域計画」を紹介した農家向けのリーフレットです。

市町村が開催する話し合いの場に参加してもらえよう、「地域計画」における話し合いの重要性や主な協議内容を掲載しています。

本リーフレットに「名入れ（表紙下部に市町村名や連絡先などを印刷）」して配布することをお勧めです。

名入れは500部以上から可能です。（500～999部：版下料5,000円、1,000部以上は版下料無料）

【税込 20 円】

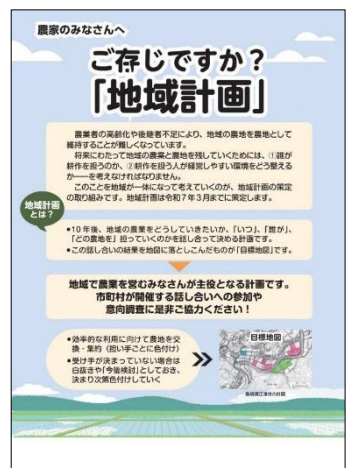
農地利用の最適化と地域計画の策定に向けて

改正基盤法施行を踏まえて

令和5年4月に農業経営基盤強化促進法等一部改正法が施行され、「人・農地プラン」が市町村の策定する「地域計画」として法定化されました。「農用地利用集積計画」は「農用地利用集積等促進計画」に統合されました。

改正法のもとでの農地利用の最適化、法改正のポイント、地域計画策定の進め方、農地バンク法の見直し、農業委員会の農地の利用調整、下限面積要件の廃止などについて解説。

【税込 550 円】



12. 常設審議委員会結果（令和5年9・10月）

農地法第4条及び第5条の規定により県農業委員会ネットワーク機構(佐賀県農業会議)に意見を求められた案件について、常設審議委員会において審議されました。

第90回、第91回の件数及び面積については、以下のとおりです。

<農地法関係処理状況>

○審議件数

回数	開催日	区分	件数
第90回	9月15日	第4条	-
		第5条	6
第91回	10月16日	第4条	-
		第5条	5

○田畑別件数及び面積(m²)

※田・畑の混合案件があるため、件数の計が一致しない。

回数	開催日	区分	田		畑		計	
			件数	面積	件数	面積	件数	面積
第90回	9月15日	第4条	0	-	0	-	0	-
		第5条	5	28,700	3	7,061	6	35,761
第91回	10月16日	第4条	0	-	0	-	0	-
		第5条	3	15,783	4	9,429	5	25,212

13. 今後の行事予定

月	日	時間	場所	内容
11	8	13:30	吉野ヶ里町役場	農業委員会職員地区別研修会（三神地区）
	9	13:30	唐津市役所	農業委員会職員地区別研修会（東西松浦地区）
	13・14	13:00	熊本市	九州・沖縄ブロック農業委員会女性委員研修会
	15	13:30	佐賀総合庁舎	第92回常設審議委員会
	17	13:30	武雄市文化会館	農業委員会職員地区別研修会（杵藤地区）
	29	13:00	東京都・銀座プロッサム	農業者年金加入推進セミナー
	30	13:00	東京都・文京シビックホール	全国農業委員会会長代表者集会
12	8	13:30	佐賀総合庁舎	農業委員会職員研修会
	15	13:30	佐賀総合庁舎	第93回常設審議委員会

農業会議だより及び全国農業新聞の記事募集について

農業委員・推進委員、農業委員会事務局職員及び関係機関の皆様より、この農業会議だより及び全国農業新聞に掲載してほしい記事を募集しています。採用された方には粗品を進呈します。

問い合わせは、TEL：0952-20-1810 E-mail：sanoukai@sanoukai.jp
担当：佐賀県農業会議 竹下